

平成14年度事業計画

水質改善や水源地域活性化にむけて各方面に要望活動

三春ダム維持管理協議会総会

平成14年度三春ダム維持管理協議会の総会がさくら湖自然観察ステーションで4月26日（金）福島県や郡山市、二本松市など関係市町村の会員や顧問16名の出席のもと開催されました。

今年三春ダムが管理に入ってから5年目という節目の年であり、水源地域ビジョンの策定の年であることから、国土交通省東北地方整備局の江藤河川部長も来賓として駆けつけて下さいました。

総会では、会長である三春町の伊藤町長が「今ダム建設が色々と話題になっているが、三春ダムは治水・利水はもちろん、地域の方々に学習の場として提供され、レクリエーションの場所として大いに役立っている。これからも、三春ダムの維持管理の支援や提案をやっていきたい。組織は小さいが志すところ非常に大きい。」と三春ダムへの思いを語られました。

会の顧問である鹿野福島県河川開発課長は「三春ダムは県中の治水・利水の要の施設であり、これからも地域の人達と有効に活用して行かなければならない。」と述べられた。



来賓の江藤河川部長は「三春ダムは今年水源地域ビジョンを策定し、三春ダム水源地域の治水・利水に加えて豊かな自然や文化などを活用した地域の振興・活性化や連携交流を図るようにしましょう。」と挨拶されました。

議事では、平成13年度の事業報告や決算報告が承諾され、さらに平成14年度としてはさくら湖水質改善や水源地域活性化にむけて各方面への要望を活発に行うこと、さくら湖自然環境フォーラム2002、さくら湖自然教室に積極的に支援していくことが満場一致で決定しました。

総会終了後は、研修として伊藤三春ダム管理所長による「水源地域ビジョンの策定について」の講話があり、さらにさくら湖の巡視船に乗って水質保全施設などの見学が行われた後、閉会しました。

三春ダム利水者への事業説明会の開催について

三春ダムでは、ダムの水を利用している関係機関と事業の調整を図るために、毎年事業説明会を開催しています。

今年も、4月25日（木）に当管理所会議室において、郡山市水道局、三春町企業局、船引町水道事業所、白沢村水道事業所、郡山市東部土地改良区、三春町土地改良区、安達疏水土地改良区（順不同）の方々に集まって頂き、開かれました。

利水者の方々からも様々な質問や意見が多数挙げられる等、充実した事業説明会となりました。



新スタッフ紹介

- ①業務担当区分
- ②出身地
- ③趣味など
- ④抱負や日頃考えていること

大内 猛 takeshi ouchi

- ①電気通信係（機械担当）
- ②千葉県千葉市
- ③ゴルフ（下手だけど・・・）、読書
- ④「三春ダム管理所の機械設備は、俺に任せろ！」と言えるように頑張ります。



渡辺 靖 yasusi watanabe

- ①総務係長
- ②福島市
- ③ゴルフ、読書
- ④4月から当三春ダム管理所に赴任しました。ダム近郊の自然を満喫していきたいと思います。公私ともよろしくお願いします。



高原 克己 katumi takahara

- ①管理係
- ②山形県山形市
- ③オートバイに乗る事、スキー、RC、模型作り、etc.・・・
- ④一年ぶりに管理所に戻って来てしまいました。再び道路事業から離れるという事に戸惑いもありますが、自分の力を一杯出せる様に努力します。今年度は大型二輪の免許取得も挑戦してみたいな・・・



佐々木 到 itaru sasaki

- ①水質係長
- ②生まれは岩手県盛岡市（でも学校は全て青森県で卒業しました）
- ③旅行（TDLは年2回）
- ④測量のレベルを顕微鏡に交換し、化学式と格闘します。



西村 彰仁 akihito nishimura

- ①電気通信係
- ②宮城県亶理郡亶理町
- ③スポーツ（野球）、映画鑑賞
- ④公務員となり、4月から三春ダムでお世話になる事になりました。一生懸命頑張っていきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。



安全で安心して暮らせる生活の確保

自然災害に備えて

三春ダムでは、放流による河川での災害及び事故の防止を図るため、関係機関に連絡及び協議を行い、公共の安全に寄与することを目的とする「三春ダム放流通報連絡会」を4月25日（木）に開催しました。

連絡会は、福島工事事務所、県中建設事務所、三春土木事務所、郡山市、三春町、県警察本部、郡山・三春警察署、郡山消防本部の担当者が出席しました。

これから迎える洪水期に対し、連絡体制の確認を行い、今後の洪水に万全の体制で備える事を確認しあいました。



本宮町阿武隈川左岸

↑H10年8月末豪雨の際の消防ポンプ稼働状況

さくら湖周辺には、中学校や小学校などの施設もあります。
そこで、音田大橋のすぐ側にある『中郷小学校』の校長先生にお話をうかがってみました。

パンフレットなどに「中郷学校」と表示されている事があるようですが・・・？

ここは、小学校の他に幼稚園と公民館が併設されています。
小さな子供から大人に至るまで、広い年齢層が「地域で学習出来る場」という意味を込めて、
3つの施設を総称して「中郷学校」と名付けられました。

最近の子供達は昔の子供達と比べて、どのような変化がありますか？

ゲーム機などの普及により一人で遊ぶことが多くなったせいか、遊びや生活に対し自分で工夫することが少なくなってきているような気がします。例えば昔はターザンごっこをするというと、ロープを木に結んだり、道具を作って遊ぶことがあったと思いますが、今の子供達はそのような事が出来ないのではないのでしょうか。

総合学習が始まりましたが、三春ダムを学習の場としてどのようにお考えですか？

最近のダム湖には、ブラックバスが生息しています。これは元々大滝根川にはいなかったものです。
このブラックバス目当てに多くの釣り人が来るのですが、ゴミを置きっぱなしにするなど、マナーが良くありません。私の目にはまだダムが出来前の美しい大滝根川が焼き付いています。子供達には、現在のダムを学びながら湖の下にある美しかったふるさとを思い、これからさくら湖がずっときれいであって欲しいと望む心を持ってほしいと考えています。

名前 田部 洋靖 (たなべ ひろやす) 三春町生まれの三春町育ち

趣味 学生時代はスキー部

好きな言葉 「この世には美しい物が3つある。
1つは空の星、1つは地の花、
もう1つは子供の瞳だ。」

この言葉は、チェコスロバキアに行った時に、現地の先生に聞いた言葉です。



↑校舎は1年生も3年生も同じ
オープンスペース。



↑階段は、数多くの思い出が残る
旧校舎の階段の板で造られました。

自分の小学校時代や教え子達の話を
する校長先生の顔は、子供達と同じ
ようにキラキラ輝いていました。

大滝根川上流域の歴史と文化を学ぼう

第6回流域勉強会が、去る4月12日(金)自然観察ステーションにおいて開催されました。
第1回は、滝根町教育委員会主幹の先崎忠衛氏をお招きし「大滝根川上流域の歴史と文化」という
演題で基調講演を頂きました。

1. 地形・地質

大滝根川支川の牧野川の分水界は滝根町菅谷地区。
この地点において河川(水量)の争奪が起きており、
一部は大滝根側にもた一部は真井川へと流れていく。
その際、新河川が旧河川を浸食して流域界が変わっ
ていくことになる。滝根層群は石灰岩・変成岩を多
く含んでおり、滝根町の地質の8割から9.5割は花崗
岩である。

2. 植生

熱変性帯には植物の変異が多い。代表的なものとし
ては、タキネツクハウツギ(1955年に発見)、タキ
ネミヤマスミレ(写真のみのまぼろしの花)スミレ
ケナシなどがある。また植生の南北の境界線に位置
しており、エゾアシサイ・ドウダンツツジなどがこ
れにあたる。さらに、氷河期の名残である高層湿原
にはリュウキンカが自生している。

3. 歴史(旧石器～縄文時代)

あぶくま道洞から縄文時代の鹿の骨が発見されたが、
入水洞では構造的に発見はされない。赤土からの遺
物発見。赤土と黒土の境は1万年前とされている。
また、三春ダム水没地や田村西部工業団地からも石
器が発見されている。

4. 文化(風習)

山の神様と田の神様をまつる風習があり、山の神が
山から下りてきて田の神となり、収穫が終われば山
の神になるとされている。

等々の興味深い講演を頂きました。

次回は5月17日(金)13:30～
テーマ「大滝根川下流の歴史と文化」
講師は三春町歴史民俗資料館学芸員の山口晋さんです。
詳しくは自然観察ステーションにお問い合わせ下さい。

どなたでも参加出来る勉強会ですので、お気軽にお問い合わせ下さい。



4月のダム見学

- 4月11日(木) 群馬県片品村戸倉ダム建設所の方々と、地権者の方々
 4月17日(水) 福島県いわき市立湯本第三中学校
 4月24日(水) 東京都中野区教育委員会
 4月24日(水) 大分川ダム(右写真) →
 (大分県野津原町)
 4月26日(金) 福島県郡山市立
 小原田小学校
 福島県郡山市立
 桑野小学校



←小原田小の皆さん

お礼のお手紙ありがとうございます!



資料館からのお知らせ

5/7(火)から資料館1Fでは、流域紹介が始まります。
 今月は常葉町を、パンフレットやビデオで紹介します。

カストムシで有名な常葉町→
 子供達に大人気の
 「ムシムシランド」には、
 珍しいカストムシが
 たくさん!



さくらの季節も終わり、緑が眩しい季節になりました



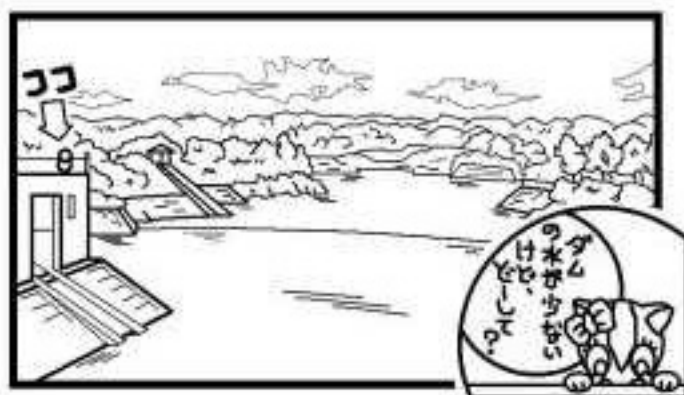
←管理所向かいの向山森林公園では、
 ヤマツツジが満開です。

※撮影5月1日(水)

初夏を感じるさくら湖へおいで下さい

編集後記

この4月に三春ダムに赴任し、「さくら湖管理ニュース」の担当になりました。最初の取材では私のたったの希望で、中郷小学校の校長先生にお話を伺って参りました。紙面で紹介できた部分は少しいませんが、他にも興味ある話を聞くことができ大変有意義でした。これからも、個人的な興味も含めて?地域の皆様への取材は欠かさず行っていきますので、三春ダム管理所の者がお邪魔した際は、ご協力よろしくお願ひします。(佐々木)



編集・発行 国土交通省

東北地方整備局
 三春ダム管理所

〒963-7722

福島県田村郡三春町大字西方字中ノ内
 403-4

TEL 0247-62-3145 FAX 0247-62-3170

ホームページアドレス

<http://www.thr.mlit.go.jp/miharu>